

# 埼玉県浦和競馬組合野田きゅう舎 走路南東側フェンスほか改修工事

※図面内の工事名称は「埼玉県浦和競馬組合野田きゅう舎走路外周フェンス改修工事」に読み替えること。

図面リスト

No.	名称	縮尺
A - 1	タイトル	—
2	特記仕様書（改修その1）	—
3	特記仕様書（改修その2）	—
4	特記仕様書（改修その3）	—
5	特記仕様書（改修その4）	—
6	特記仕様書（改修その5）	—
7	特記仕様書（改修その6）	—
8	特記仕様書（改修その7）	—
9	特記仕様書（改修その8）	—
10	案内図、配置図	1/1,500
11	（改修前・後）走路フェンス平面詳細図、立面図	1/30
12	（改修前・後）走路フェンス断面詳細図	1/30

## （株）高岡建築設計事務所

理監	技術協力	主査	主査	担当
飛塚	中里	岩崎	矢島	長瀬

（株）高岡建築設計事務所

TAKAOKA ARCHITECTS  
&  
ENGRS OFFICE

社団法人 埼玉建築設計監理協会

一級建築士事務所 埼玉県知事登録 ( 17 ) 第 37 号  
埼玉県さいたま市緑区太田窪1-15-8  
TEL. 048-882-6450  
FAX. 048-882-2004  
一級建築士 登録第 5 2 1 4 6 号 高岡 敏夫

設計 製図 照合 承認 訂正  
03 年 月 日

工事名称

埼玉県浦和競馬組合野田きゅう舎走路南東側  
フェンスほか改修工事

設計図

図面名称

タイトル

縮尺

図面番号

A - 1





5 アルミニウム製建具	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による ・図示) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ (※) とする場合 断熱性の等級 (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追従性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)	[5. 2. 2~5][表5. 2. 1、2]
	網戸等 種類 材質 線径 目 ・防虫網 ※合成樹脂製 ※0. 25mm以上 ※16~8メッシュ ・防鳥網 ステンレス(SUS316)製 ステンレス(SUS304)線材 1. 5mm 網目寸法15mm	
6 樹脂製建具	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による ・図示) 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 外部に面する建具の種類 ・T-A種 ・T-B種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による ・図示) 断熱ドア、断熱サッシ (※) とする場合の断熱性の等級 外部に面する建具の種類 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による ・図示)	[5. 2. 2][5. 3. 2~5]
	ガラス 水切り板、ぜん板等 ※覆層ガラス 表面色 ※標準色 ※特注色	
7 鋼製建具	性能値等 簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ (※) とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追従性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)	[5. 2. 2][5. 4. 2、4][表5. 4. 2]
	鋼板類の厚さ 大型建具(1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2, 400mmを超えるもの) ※建具表による 上記以外の鋼製建具 ※[表5. 4. 2]による ・建具表による	
8 鋼製軽量建具	性能値等 簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 外部に面するステンレス製建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ (※) とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追従性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)	[5. 2. 2][5. 5. 2~4]
	材料 鋼板類 ※亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・が鋼板 ・ステンレス鋼板 引合せ、縦小口包み板等の材質 ※鋼板 ・建具表による	
9 ステンレス製建具	性能値等 簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 外部に面するステンレス製建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ (※) とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追従性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)	[5. 2. 2][5. 4. 2][5. 6. 2~5]
	材料 鋼板 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	
10 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外	(16. 7. 2~4)
	・フラッシュ戸 表面材の合板の種類 合板の種類 規格等 備考 ・普通合板 (※) 表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン合板程度) ・ 不透明塗料塗り (※しな合板程度) ・ 板面の品質 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類) 防虫処理 ・行 ・天然木化粧合板 (※) 樹種名 ( ) 接着の程度 (・1類 ・2類) 防虫処理 ・行 ・特殊加工化粧合板 (※) 化粧加工の方法 (・ホッパ・プリント・塗装) 表面性能 ( ) タイプ 接着の程度 (・1類 ・2類) 防虫処理 ・行 表面材の厚さ ※(表16. 7. 6)による ・かまち戸 かまち樹種 ( ) 鍍板樹種 ( ) 見込み寸法 ※30mm ・建具表による	

11 建具用金物	・ふすま 張りの種別 (・I型 ・II型) 上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 上張り(押入等の裏側以外) ・鳥の子 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁(表地) ・生地縁(ウレタンクリアー塗装) 見込み寸法 ※19. 5mm ・建具表による	[5. 7. 1~3]
	・戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による 枠及びつずりの材料 ・建具表による	
12 鍵	金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※[表5. 7. 1]及び適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5. 7. 2]による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※[表5. 7. 3]による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置 ・建具表による 木製建具に使用する戸車及びレール ※標準仕様書 表16. 8. 5による ・建具表による	[5. 7. 1~3]
	マスターキー ・製作する (・新規 ・既存マスター合わせ) ・製作しない [5. 7. 4] その他の鍵 ※各室3本1組 鍵筒 ・無 ・有	
13 自動ドア開閉装置	引き戸用駆動装置及び検出装置の種類 自動ドア 耐電圧、温度上昇、耐久性(サイクル) 防錆 検出装置(センサー)の種類 凍結防止措置 ・SSLD-1 ※[表5. 8. 1]による ・適用する ・マトススイッチ ・行 ・SSLD-2 ・上記によらない ※適用しない ・光線(反射)スイッチ (適用箇所は 場合( ) ・熱線スイッチ 建具表による) ・DSLD-1 適用する場合 ※[表5. 8. 1] ・音波スイッチ ・行 による ( ) ・光電スイッチ ・行 ・DSLD-2 ( ) ・タチスイッチ ( ) ・ ( ) ・押しボタンスイッチ ・ ( ) ・ダialsイッチ ・ ( ) ・多機能トイレスイッチ	[5. 8. 2、3]
	多機能トイレ出入口に設置される引き戸 出入口引き戸用駆動装置の性能値 ※[表5. 8. 2]による (防錆の適用) ※しない ・上記によらない場合 ( ) 検出装置(センサー)の種類 ・建具表による ・上記表と同じ 凍結防止措置 ・行 (適用箇所は建具表による) ・行わない	
14 自閉式上吊り引戸装置	引き戸用検出装置の性能値 ※[表5. 8. 3]による ・上記によらない場合 ( ) 戸の開閉方式 ※建具表による ・図示	[5. 9. 3]
	性能 ※[表5. 9. 1]による	
15 重量シャッター	シャッターの種類 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> ・一般重量シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> ・外壁用防火シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター 開閉方式の種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 ・二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置等を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示 ・障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 ※図示 ・屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ※[5. 10. 2](4)(c)に適合するもので、以下のいずれかの機構を有するものとする ※(a)障害物感知装置(自動閉鎖型) ・(b)可動座板式 設置箇所 ※図示 ・管理用シャッターのシャッターケースの設置箇所 ※図示	[5. 10. 2、3]
	材料 スラット及びシャッターケース用鋼板の材質 種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12	
16 軽量シャッター	開閉形式の種類 ・上部電動式(手動併用) ※手動式 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> 材料 スラットの材質 種類及びめっきの付着量 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※Z06又はF06) ・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※AZ90) スラットの形状 ・インターロック形 ・オーバーラッピング形	[5. 11. 2~4]
	スラットの形状 ・インターロック形 ・オーバーラッピング形	
17 オーバーヘッドドア	セクション区分 耐風圧区分(Pa) 開閉方式による区分 収納形式による区分 ガイドレール ※スチールタイプ ・125 ※バランス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛 ・アルミニウムタイプ ・100 ・チエーン式 ・ローヘッド形 めっき鋼板 ・ファイバーグラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形 ・ステンレス鋼板 ・パーチカル形	[5. 12. 2、3]
	適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。 合わせガラス 種類 構成種類 性能 ・フロート合わせガラス ・フロート板合わせガラス ・I類 ・網入磨き合わせガラス ・熱線吸収・フロート板合わせガラス ・II-1類・II-2類 ・網入磨き・熱線吸収板合わせガラス ・III類 強化ガラス 材料板ガラスによる種類 種類 性能 ・フロートガラス ・フロート強化ガラス ・I類・III類 ・型板ガラス ・型板強化ガラス 熱線吸収板ガラス 種類 性能 色調 ・熱線吸収フロート板ガラス ・1種 ・2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・熱線吸収網入磨き板ガラス	
18 ガラス	ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。 合わせガラス 種類 構成種類 性能 ・フロート合わせガラス ・フロート板合わせガラス ・I類 ・網入磨き合わせガラス ・熱線吸収・フロート板合わせガラス ・II-1類・II-2類 ・網入磨き・熱線吸収板合わせガラス ・III類 強化ガラス 材料板ガラスによる種類 種類 性能 ・フロートガラス ・フロート強化ガラス ・I類・III類 ・型板ガラス ・型板強化ガラス 熱線吸収板ガラス 種類 性能 色調 ・熱線吸収フロート板ガラス ・1種 ・2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・熱線吸収網入磨き板ガラス	[3. 7][5. 13. 2~4]
	適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。 合わせガラス 種類 構成種類 性能 ・フロート合わせガラス ・フロート板合わせガラス ・I類 ・網入磨き合わせガラス ・熱線吸収・フロート板合わせガラス ・II-1類・II-2類 ・網入磨き・熱線吸収板合わせガラス ・III類 強化ガラス 材料板ガラスによる種類 種類 性能 ・フロートガラス ・フロート強化ガラス ・I類・III類 ・型板ガラス ・型板強化ガラス 熱線吸収板ガラス 種類 性能 色調 ・熱線吸収フロート板ガラス ・1種 ・2種 ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・熱線吸収網入磨き板ガラス	

19 ガラスブロック	複層ガラス 種類 断熱性 日射取得性、日射遮蔽性 ・断熱複層ガラス ・T1 ・T2 ・T3 ・G ・S ・日射熱逡い複層ガラス ・T4 ・T5 ・T6 熱線反射ガラス 種類 日射熱逡い性 耐久性 ・熱線反射ガラス 色調 (・ブルー ・グレー) ・1種 A種 ・高性能熱線反射ガラス 色調 (・ブロンズ ・シルバー) ・2種 ・A種 ・B種 ・3種 B種 反射被膜面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行 倍強度ガラス 材料板ガラスによる種類の名称 色調 ・フロート倍強度ガラス ・熱線吸収倍強度ガラス ・ブルー ・グレー ・ブロンズ ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・ガサケット ・グレイジングチャンネル形 鋼製及び鋼製軽量 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ステンレス製 ・シーリング材 ※建具の製造所の仕様による	[5. 13. 5]
	表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅(mm) 伸縮調整 防火性能 ・正方形 ・125×125 80 ・カ7 乳白 平積み 目地幅(mm) 伸縮調整 防火性能 ・160×160 95 ・カ7 乳白 平積み 目地幅(mm) 伸縮調整 防火性能 ・200×200 95 ・カ7 乳白 平積み 目地幅(mm) 伸縮調整 防火性能 ・320×320 95 ・カ7 乳白 平積み 目地幅(mm) 伸縮調整 防火性能 ・長方形 ・250×125 80 ・カ7 乳白 平積み 目地幅(mm) 伸縮調整 防火性能 ・320×160 95 ・カ7 乳白 平積み 目地幅(mm) 伸縮調整 防火性能 目地幅の曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 材料 壁用金属枠及び補強材の材質及び形状 ※図示 力骨 材質 ※ステンレス鋼(SUS304) 寸法 ※径5. 5mm 形状 ※はしご形状補筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 ( ) 金属製化粧カバー 材質 ※ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ※図示 形状 ※図示 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1. 15 ・1. 3) 倍の風圧力に対応した工法 ガラスブロックの目地幅の寸法 ※[5. 13. 5](2)(g)(a)①②による 伸縮調整目地の位置 ※6mm以下ごとに幅10~25mmの目地を設ける 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロックの製造所の仕様による ・図示 ※施工箇所は建具表による	
20 ガラス用フィルム	種類 記号 その他性能等 ・日射調整フィルム (※) ・SC-1 外貼り用 ・低放射フィルム ・LF 外貼り用 ・衝撃破壊対応ガラス ・GI-1 ・GI-2 飛散防止フィルム ・層間変位破壊対応ガラス ・GD-1 ・GD-2 飛散防止フィルム ・ガラス貫通防止フィルム ・SF 品質 JIS A 5755 による	[6. 1. 3]
	既存開口壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示	
6 内装改修工事	1 改修範囲 既存開口壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示	[6. 1. 3]
	2 既存床の撤去及び下地補修 ビニルシート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) ・下地モルタルとも(・図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・自費施工 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及び エポキシ樹脂モルタルは、「4章 外装改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内	
5 製材	3 既存壁の撤去及び下地補修 開口壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※[4. 4. 9]によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示) ・図示	[6. 3. 2]
	4 木下地等の表面仕上げ 表面仕上げの種類 適用箇所 ・A種 ・B種 ・C種 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種	
7 造作用単板積層材	「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ※2級 ※A種 ・B種 ※2級 ※A種 ・B種	[6. 5. 2]
	「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ※上小節 ※A種 ・B種 見え掛り面 ※小節以上 ※A種 ・B種 見え掛り面以外 ※A種 ・B種	
8 合板等	「製材の日本農林規格」による普通合板 (※) 表面の品質(化粧加工の有無) 含水率 防虫処理 間伐材等の適用 ・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ※14%以下 ・無し( ) ※14%以下 ・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ※14%以下 ・無し( )	[6. 5. 2]
	「製材の日本農林規格」による普通合板 (※) 表面の品質(化粧加工の有無) 含水率 防虫処理 間伐材等の適用 ・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ※14%以下 ・無し( ) ※14%以下 ・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ※14%以下 ・無し( )	

6 造作用集成材	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用 ※1等 ※10%以下 ※1等 ※10%以下 ・A種 ・B種 ・A種 ・B種	[6. 5. 2]
	「製材の日本農林規格」以外の製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 材面の品質 含水率 防虫処理 間伐材等の適用 造作材の場合 ※A種 ・B種 造作材の場合 ※A種 ・B種	
7 造作用単板積層材	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 施工箇所 樹種 材面数 寸法(mm) 見付け材面の品質 間伐材等の適用 ※1等 ※2等 ※1等 ※2等 「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の寸法(mm) 見付け材面の品質 間伐材等の適用 ※1等 ※2等 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 寸法(mm) 見付け材面の品質 間伐材等の適用 ※15%以下 ※15%以下 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※15%以下 ※15%以下 「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材 施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 化粧薄板の厚さ(mm) 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用 ※15%以下 ※15%以下	[6. 5. 2]
	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 施工箇所 寸法(mm) 表面の品質(化粧加工の有無) 防虫処理 間伐材等の適用 ・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ・無し(等級・1等・2等・3等)	
8 合板等	「製材の日本農林規格」による普通合板 (※) 表面の品質(化粧加工の有無) 含水率 防虫処理 間伐材等の適用 ・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ※14%以下 ・無し( ) ※14%以下 ・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ※14%以下 ・無し( )	[6. 5. 2]
	「製材の日本農林規格」による普通合板 (※) 表面の品質(化粧加工の有無) 含水率 防虫処理 間伐材等の適用 ・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ※14%以下 ・無し( ) ※14%以下 ・有り(加工・天然木加工・塗装加工) ※14%以下 ・無し( )	

9 接合具等	「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 [6. 9. 2. 3]	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の種類名	防虫処理の適用	間伐材等の適用		
	「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 [6. 9. 2. 4]	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧加工の方法	防虫処理の適用	間伐材等の適用		
	パーティクルボード [6. 9. 2. 5]	施工箇所	厚さ(mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)	
	構造用パネル	施工箇所	厚さ(mm)	等級					
	MDF [6. 9. 2. 6]	施工箇所	厚さ(mm)	表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)	間伐材等の適用
	諸金物の形状、寸法及び材質 ※かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、[6. 5. 3. (2) (7)]による [6. 5. 3. 4]								
	接着剤は可塑剤（難燃性の可塑剤を除く）が付されていないものとする。ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 [6. 5. 5]								
	防菌、防蟻処理を省略できる樹種による製材適用部位： [6. 5. 5]								
	薬剤の加圧注入による防菌、防蟻処理								
	薬剤の塗布等による防菌、防蟻処理								
10 防菌・防蟻・防虫処理	野蜂等の種類 屋外 ※25形・19形 屋内 ※19形・25形 [6. 6. 2~4]								
	RC造等の内部間仕切軸組 杉材又は松 [6. 5. 6~9]								
11 内部間仕切、窓、床等の木材	窓 出入口その他 吊り種、水掛りの下枠及び敷居 ※ひのき [6. 5. 6~9]								
	縁甲板及び上がり 材 ※ひのき [6. 5. 6~9]								
12 軽量鉄骨天井下地	野蜂等の種類 屋外 ※25形・19形 屋内 ※19形・25形 [6. 6. 2~4]								
	既存の埋込みインサート 使用する 使用しない [6. 7. 3. 4]								
13 軽量鉄骨壁下地	スタッドの種類 高さ5mを超える場合 ※図示 [6. 7. 3. 4]								
	出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6. 7. 4] (5) (7) (4)による [6. 8. 2]								
14 ビニル床シート	接着剤 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 [6. 8. 2]								
	目地処理する際の工法 ※熱溶接工法 [6. 8. 2]								
15 ビニル床タイル	接着剤 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 [6. 8. 2]								
	目地処理する際の工法 ※熱溶接工法 [6. 8. 2]								
16 特殊複層床材	接着剤 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 [6. 8. 2]								
	目地処理する際の工法 ※熱溶接工法 [6. 8. 2]								
17 ビニル幅木	接着剤 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 [6. 8. 2]								
	目地処理する際の工法 ※熱溶接工法 [6. 8. 2]								
18 ゴム床タイル	接着剤 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 [6. 8. 2]								
	目地処理する際の工法 ※熱溶接工法 [6. 8. 2]								

19 カーペット敷き	織じゆうたん 品質 織り方及びパイル形状 ( ) [6. 9. 2. 3]							
	タフテッドカーペット [6. 9. 2. 4]							
	下敷き材 (グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm [6. 9. 2. 5]							
	ニードルパンチカーペット [6. 9. 2. 6]							
	タイルカーペット [6. 9. 2. 7]							
	タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き 模様流し [6. 9. 2. 8]							
	タイルカーペットの敷き方 階段部分 ※模様流し 市松敷き [6. 9. 2. 9]							
	タイルカーペットの敷き方 見切り、押え金物 適用する(材質、形状等) ※図示 [6. 9. 2. 10]							
	タイルカーペットの敷き方 適用しない [6. 9. 2. 11]							
	20 合成樹脂塗床	塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6. 10. 2. 3]						
厚膜型塗床材 (弾性引伸率樹脂系塗床) [6. 10. 2. 4]								
厚膜型塗床材 (1.5μ樹脂系塗床) [6. 10. 2. 5]								
厚膜型塗床材 (1.5μ樹脂系塗床) [6. 10. 2. 6]								
7μ樹脂塗床 (JIS K 5970) (防塵塗料塗床) [6. 10. 2. 7]								
単層フローリング [6. 11. 2~6]								
フローリングボード1等 [6. 11. 2~6]								
フローリングボード2等 [6. 11. 2~6]								
フローリングボード3等 [6. 11. 2~6]								
フローリングボード4等 [6. 11. 2~6]								
21 フローリング張り	複合フローリング [6. 11. 2~6]							
	天然木化粧複合フローリング [6. 11. 2~6]							
	複合フローリング [6. 11. 2~6]							
	天然木化粧複合フローリング [6. 11. 2~6]							
	複合フローリング [6. 11. 2~6]							
	天然木化粧複合フローリング [6. 11. 2~6]							
	複合フローリング [6. 11. 2~6]							
	天然木化粧複合フローリング [6. 11. 2~6]							
	複合フローリング [6. 11. 2~6]							
	天然木化粧複合フローリング [6. 11. 2~6]							
22 畳敷き	畳の種類 標準仕様書 表12.6.11による床組 [6. 12. 2]							
	畳の種類 標準仕様書 表12.6.11による床組 [6. 12. 2]							
	畳の種類 標準仕様書 表12.6.11による床組 [6. 12. 2]							
	畳の種類 標準仕様書 表12.6.11による床組 [6. 12. 2]							
	畳の種類 標準仕様書 表12.6.11による床組 [6. 12. 2]							
	畳の種類 標準仕様書 表12.6.11による床組 [6. 12. 2]							
	畳の種類 標準仕様書 表12.6.11による床組 [6. 12. 2]							
	畳の種類 標準仕様書 表12.6.11による床組 [6. 12. 2]							
	畳の種類 標準仕様書 表12.6.11による床組 [6. 12. 2]							
	畳の種類 標準仕様書 表12.6.11による床組 [6. 12. 2]							
23 セッコウボード	接着剤によるホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6. 13. 2. 3]							
	接着剤によるホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6. 13. 2. 3]							
	接着剤によるホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6. 13. 2. 3]							
	接着剤によるホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6. 13. 2. 3]							
	接着剤によるホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6. 13. 2. 3]							
	接着剤によるホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6. 13. 2. 3]							
	接着剤によるホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6. 13. 2. 3]							
	接着剤によるホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6. 13. 2. 3]							
	接着剤によるホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6. 13. 2. 3]							
	接着剤によるホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6. 13. 2. 3]							

24 壁紙張り	壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [6. 14. 2. 3]							
	壁紙の種類 [6. 14. 2. 3]							
	壁紙の種類 [6. 14. 2. 3]							
	壁紙の種類 [6. 14. 2. 3]							
	壁紙の種類 [6. 14. 2. 3]							
	壁紙の種類 [6. 14. 2. 3]							
	壁紙の種類 [6. 14. 2. 3]							
	壁紙の種類 [6. 14. 2. 3]							
	壁紙の種類 [6. 14. 2. 3]							
	壁紙の種類 [6. 14. 2. 3]							
25 モルタル塗り	モルタル・プaster面の下地調整 ※RB種 [6. 15. 3. 5. 6]							
	モルタル・プaster面の下地調整 ※RB種 [6. 15. 3. 5. 6]							
	モルタル・プaster面の下地調整 ※RB種 [6. 15. 3. 5. 6]							
	モルタル・プaster面の下地調整 ※RB種 [6. 15. 3. 5. 6]							
	モルタル・プaster面の下地調整 ※RB種 [6. 15. 3. 5. 6]							
	モルタル・プaster面の下地調整 ※RB種 [6. 15. 3. 5. 6]							
	モルタル・プaster面の下地調整 ※RB種 [6. 15. 3. 5. 6]							
	モルタル・プaster面の下地調整 ※RB種 [6. 15. 3. 5. 6]							
	モルタル・プaster面の下地調整 ※RB種 [6. 15. 3. 5. 6]							
	モルタル・プaster面の下地調整 ※RB種 [6. 15. 3. 5. 6]							
26 タイル張り	伸縮調整目地の位置 [6. 16. 2~4]							
	伸縮調整目地の位置 [6. 16. 2~4]							
	伸縮調整目地の位置 [6. 16. 2~4]							
	伸縮調整目地の位置 [6. 16. 2~4]							
	伸縮調整目地の位置 [6. 16. 2~4]							
	伸縮調整目地の位置 [6. 16. 2~4]							
	伸縮調整目地の位置 [6. 16. 2~4]							
	伸縮調整目地の位置 [6. 16. 2~4]							
	伸縮調整目地の位置 [6. 16. 2~4]							
	伸縮調整目地の位置 [6. 16. 2~4]							
27 セルフレベリング材	標準的な曲がりの役物は一体成形とする [6. 17. 2. 3]							
	標準的な曲がりの役物は一体成形とする [6. 17. 2. 3]							
	標準的な曲がりの役物は一体成形とする [6. 17. 2. 3]							
	標準的な曲がりの役物は一体成形とする [6. 17. 2. 3]							
	標準的な曲がりの役物は一体成形とする [6. 17. 2. 3]							
	標準的な曲がりの役物は一体成形とする [6. 17. 2. 3]							
	標準的な曲がりの役物は一体成形とする [6. 17. 2. 3]							
	標準的な曲がりの役物は一体成形とする [6. 17. 2. 3]							
	標準的な曲がりの役物は一体成形とする [6. 17. 2. 3]							
	標準的な曲がりの役物は一体成形とする [6. 17. 2. 3]							

28 フリーアクセスフロア	フリーアクセスフロア及び表面仕上材 [20. 2. 2]							
	フリーアクセスフロアの試験方法 [20. 2. 2]							
	フリーアクセスフロアの試験方法 [20. 2. 2]							
	フリーアクセスフロアの試験方法 [20. 2. 2]							
	フリーアクセスフロアの試験方法 [20. 2. 2]							
	フリーアクセスフロアの試験方法 [20. 2. 2]							
	フリーアクセスフロアの試験方法 [20. 2. 2]							
	フリーアクセスフロアの試験方法 [20. 2. 2]							
	フリーアクセスフロアの試験方法 [20. 2. 2]							
	フリーアクセスフロアの試験方法 [20. 2. 2]							
29 可動間仕切	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 3]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 3]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 3]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 3]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 3]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 3]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 3]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 3]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 3]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 3]							
30 移動間仕切	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 4]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 4]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 4]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 4]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 4]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 4]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 4]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 4]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 4]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 4]							
31 トイレブース	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 5]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 5]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 5]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 5]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 5]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 5]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 5]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 5]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 5]							
	パネル材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [20. 2. 5]							
32 階段滑り止め	材質・ステンレス製 黄銅製押出型材 [20. 2. 6]							
	材質・ステンレス製 黄銅製押出型材 [20. 2. 6]							
	材質・ステンレス製 黄銅製押出型材 [20. 2. 6]							
	材質・ステンレス製 黄銅製押出型材 [20. 2. 6]							
	材質・ステンレス製 黄銅製押出型材 [20. 2. 6]							
	材質・ステンレス製 黄銅製押出型材 [20. 2. 6]							
	材質・ステンレス製 黄銅製押出型材 [20. 2. 6]							
	材質・ステンレス製 黄銅製押出型材 [20. 2. 6]							
	材質・ステンレス製 黄銅製押出型材 [20. 2. 6]							
	材質・ステンレス製 黄銅製押出型材 [20. 2. 6]							
33 手すり	材質・集成材 カワアツカ [20. 2. 7]							
	材質・集成材 カワアツカ [20. 2. 7]							
	材質・集成材 カワアツカ [20. 2. 7]							
	材質・集成材 カワアツカ [20. 2. 7]							
	材質・集成材 カワアツカ [20. 2. 7]							
	材質・集成材 カワアツカ [20. 2. 7]							
	材質・集成材 カワアツカ [20. 2. 7]							
	材質・集成材 カワアツカ [20. 2. 7]							
	材質・集成材 カワアツカ [20. 2. 7]							
	材質・集成材 カワアツカ [20. 2. 7]							
34 黒板及びホワイトボード	黒板 区分 ※焼き付け [20. 2. 8]							
	黒板 区分 ※焼き付け [20. 2. 8]							
	黒板 区分 ※焼き付け [20. 2. 8]							
	黒板 区分 ※焼き付け [20. 2. 8]							
	黒板 区分 ※焼き付け [20. 2. 8]							
	黒板 区分 ※焼き付け [20. 2. 8]							
	黒板 区分 ※焼き付け [20. 2. 8]							
	黒板 区分 ※焼き付け [20. 2. 8]							
	黒板 区分 ※焼き付け [20. 2. 8]							
	黒板 区分 ※焼き付け [20. 2. 8]							
35 表示	衝突防止表示 [20. 2. 10]							
	衝突防止表示 [20. 2. 10]							
	衝突防止表示 [20. 2. 10]							
	衝突防止表示 [20. 2. 10]							
	衝突防止表示 [20. 2. 10]							
	衝突防止表示 [20. 2. 10]							
	衝突防止表示 [20. 2. 10]							
	衝突防止表示 [20. 2. 10]							
	衝突防止表示 [20. 2. 10]							
	衝突防止表示 [20. 2. 10]							
36 ブラインド	形式・操作 [20. 2. 12]							
	形式・操作 [20. 2. 12]							
	形式・操作 [20. 2. 12]							
	形式・操作 [20. 2. 12]							
	形式・操作 [20. 2. 12]							
	形式・操作 [20. 2. 12]							
	形式・操作 [20. 2. 12]							
	形式・操作 [20. 2. 12]							
	形式・操作 [20. 2. 12]							
	形式・操作 [20. 2. 12]							
37 ロールスクリーン	操作 [20. 2. 13]							
	操作 [20. 2. 13]							
	操作 [20. 2. 13]							
	操作 [20. 2. 13]							
	操作 [20. 2. 13]							
	操作 [20. 2. 13]							
	操作 [20. 2. 13]							
	操作 [20. 2. 13]							
	操作 [20. 2. 13]							
	操作 [20. 2. 13]							
38 カーテン	形式・開閉操作 [20. 2. 14]							
	形式・開閉操作 [20. 2. 14]							
	形式・開閉操作 [20. 2. 14]							
	形式・開閉操作 [20. 2. 14]							
	形式・開閉操作 [20. 2. 14]							
	形式・開閉操作 [20. 2. 14]							
	形式・開閉操作 [20. 2. 14]							
	形式・開閉操作 [20. 2. 14]							
	形式・開閉操作 [20. 2. 14]							
	形式・開閉操作 [20. 2. 14]							



11 コンクリート工事	① コンクリートの種類等	類別 (6.2.1) ※I類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ・II類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4) <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m<sup>3</sup>)</th> <th>スランブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>24</td> <td>2.3程度</td> <td>15又は18・18</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 構造体強度補正值 (S) (6.3.2) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正值 S = 3 (月 日 ~ 月 日、月 日 ~ 月 日) S = 6 (月 日 ~ 月 日、月 日 ~ 月 日)	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランブ	適用箇所	24	2.3程度	15又は18・18														14 無筋コンクリート (6.14.1)	コンクリートの種類 (6.14.1) ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・フライアッシュセメントB種 ・高炉セメントB種 設計基準強度 ※18 (N/mm <sup>2</sup> ) ・フライアッシュセメントB種 スランブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 図示による ( ) 実施要領 (1)単位水量の測定は、150m <sup>2</sup> に1回以上及び落下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(c)による。 (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1)測定した単位水量が、計画調合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m <sup>3</sup> の範囲にある場合はそのまま施工する。 2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m <sup>3</sup> の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m <sup>3</sup> 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3)設計値±20kg/m <sup>3</sup> を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m <sup>3</sup> 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4)単位水量管理についての記録を計画調合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、I77法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。											
	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランブ	適用箇所																															
	24	2.3程度	15又は18・18																																
	② セメント	種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 適用箇所(※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で382J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 適用箇所(・IFLより下部(立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 適用箇所(・)	15 コンクリートの単位水量測定																																
	③ 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m <sup>3</sup> 以下)																																	
	4 混和材料	・混和剤 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による																																	
	5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	打継ぎの位置 (6.6.4) 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 図示による ( ) 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 図示による ( ) 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) 標準仕様書 9.7.3(1)(7)~(9)による ※ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する 図示による ( ) ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1) 図示による ( )																																	
	6 温潤養生	温潤養生の期間 (6.7.2) ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ( ) 日																																	
⑦ コンクリートの仕上り	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2) <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> </table> コンクリートの仕上りの平たんさ <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・a種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・b種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・c種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> </table>	種 別	適用箇所	・A種	※図示による ( )	・B種	※図示による ( )	・C種	※図示による ( )	種 別	適用箇所	・a種	※図示による ( )	・b種	※図示による ( )	・c種	※図示による ( )																		
種 別	適用箇所																																		
・A種	※図示による ( )																																		
・B種	※図示による ( )																																		
・C種	※図示による ( )																																		
種 別	適用箇所																																		
・a種	※図示による ( )																																		
・b種	※図示による ( )																																		
・c種	※図示による ( )																																		
8 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	打増し厚さ (6.8.1) ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm 打増し範囲 図示による ( )																																		
⑨ 型枠	せき板の材料及び厚さ (6.8.2) ・合板(※12mm) ⑥ コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 図示による ( ) ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 図示による ( ) 打増し厚さ 20mm 打増し範囲 図示による ( ) スリーブの材質・規格等 図示による ( ) 養生期間及び取外し (6.8.4) ※標準仕様書6.8.4による ・普通エコセメントの場合(※図示による ( ) )																																		
10 軽量コンクリート	適用箇所 (6.10.1.2) 図示による ( ) 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書 表6.10.1による スランブ ※21cm																																		
11 寒中コンクリート	適用期間(月 日 ~ 月 日) (6.11.1.2) 構造体強度補正值(S)を積算温度を基に定める場合 図示による ( )、S = ( )																																		
12 暑中コンクリート	適用期間(月 日 ~ 月 日) (6.12.2) 構造体強度補正值(S) ※6N/mm <sup>2</sup> 図示による ( )、S = ( )																																		
13 マスコンクリート	適用箇所 (6.13.1.2) 図示による ( ) セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 あり(・標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・標準仕様書6.13.2(2)(4)による) スランブ ※15cm 構造体強度補正值(S) ※標準仕様書 表6.13.1による																																		

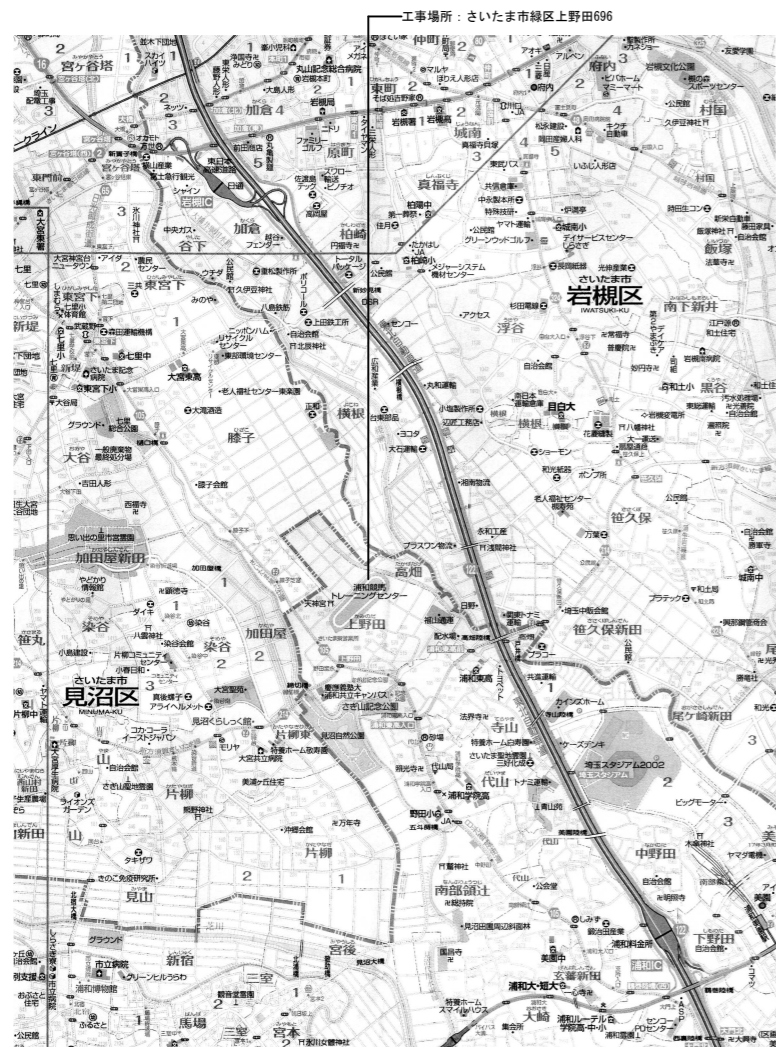
埼玉県浦和競馬組合	課長	技術参与	主査	主査	担当
	飛塚	中里	岩崎	矢島	長瀬



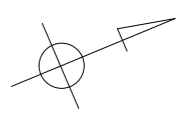
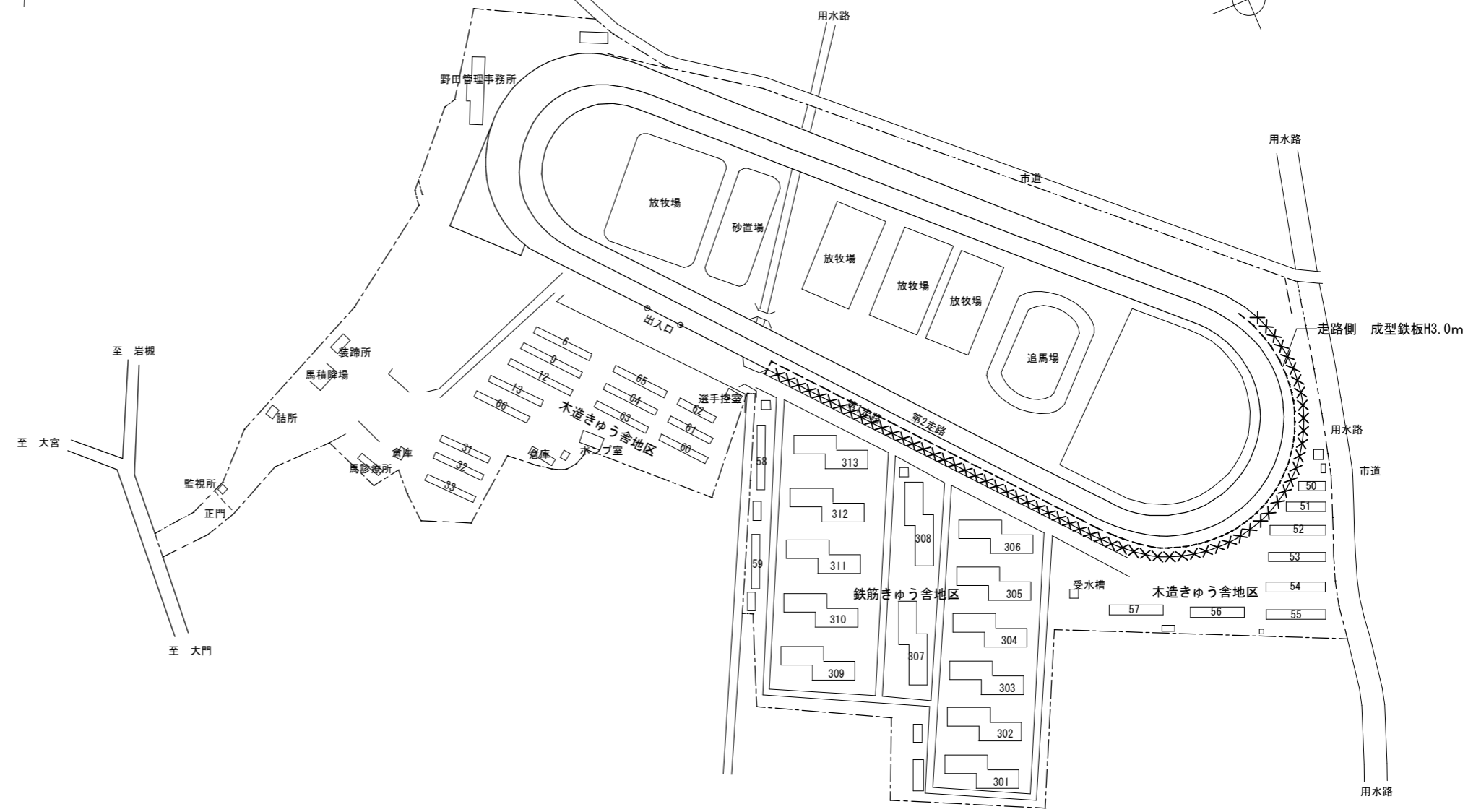


<p>(土工事及び地業工事)</p> <p>1 既存杭の撤去等</p> <p>2 土工事</p> <p>③ 地業工事</p>	<p>撤去範囲及び撤去方法 [8. 28. 2]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示による ( )</li> <li>・ 杭頭部等の処理</li> <li>・ 図示による ( )</li> <li>・ 既存杭の補強</li> <li>・ 図示による ( )</li> <li>・ 健全性の確認試験</li> <li>・ 図示による ( )</li> </ul> <p>埋戻し及び盛土の種類 [8. 28. 3]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A種 適用場所 ( )</li> <li>・ B種 適用場所 ( )</li> <li>・ C種 適用場所 ( ) 土質 ( ) 受渡場所 ( )</li> <li>・ D種 適用場所 ( )</li> </ul> <p>品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。</p> <p>六価クロム溶出試験 行う</p> <p>建設発生土の処理 構内指示の場所に堆積 構内指示の場所に敷均し</p> <p>鋼矢板等の抜き跡の処理 ※直ちに砂で充填する</p> <p>山留め壁等の存置 行う(存置範囲 ※図示)</p> <p>杭地業 [8. 2. 15][8. 28. 4]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 杭地業</li> <li>・ 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む)</li> <li>・ 図示による ( )</li> <li>・ 杭の材料、工法、寸法、施工方法等</li> <li>・ 図示による ( )</li> <li>・ 試験杭の位置、本数、寸法、施工方法</li> <li>・ 図示による ( )</li> <li>・ 杭の載荷試験 適用(鉛直・水平) 試験杭(位置、本数、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示)</li> <li>・ 地盤の載荷試験 適用(※平板) 試験位置、載荷荷重、試験方法、報告書記載事項 ※図示</li> <li>・ 杭の溶接継手 あり(継手の箇所数、材料、工法等 ※図示) 技能資格者の技量及び溶接部の確認 ※図示</li> <li>・ 杭頭の処理等 する(処理方法(切断にともなう補強方法含む)※図示)</li> <li>・ 記録する施工状況等 図示による ( )</li> </ul> <p>砂利地業 [8. 2. 15][8. 28. 4]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 砂利地業</li> <li>・ 材料 再生クラッシュラン ☑ 切込砂利又は切込砕石</li> <li>・ 施工範囲 図示による ( )</li> <li>・ 厚さ ※60mm</li> </ul> <p>砂地業 [8. 2. 15][8. 28. 4]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 砂地業</li> <li>・ 材料 シルト 有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砕砂</li> <li>・ 施工範囲 図示による ( )</li> <li>・ 厚さ ※60mm</li> </ul> <p>捨コンクリート地業 [8. 11. 1~3][8. 28. 4]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 捨コンクリート地業</li> <li>・ 材料 ※普通コンクリート</li> <li>・ 設計基準強度 ※18N/mm<sup>2</sup></li> <li>・ スラブ ※15cm又は18cm</li> <li>・ 施工範囲 図示による ( )</li> <li>・ 厚さ ※50mm(※平たん仕上げ)</li> </ul>			
----------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--

埼玉県浦和競馬組合				
課長	技術参与	主査	主査	担当
飛塚	中里	岩崎	矢島	長瀬



案内図 S=1:25,000



改修 全体配置図 S=1:1,500  
(総合仮設計画図兼用)

- 凡例:
- 成型鉄板H3.0m を示す
  - XXXX 走路フェンス改修範囲を示す
  - 走路用目隠しフェンス H1.800 450m
  - 下地土止めパネル W1.300×H550 250か所
  - フェンス用基礎 □500×H650 251か所

埼玉県浦和競馬組合	課長	技術参事	主査	主査	担当
	飛塚	中里	岩崎	矢島	長瀬

**(株)高岡建築設計事務所** TAKAOKA ARCHITECTS & ENGRS OFFICE  
社団法人 埼玉建築設計監理協会員

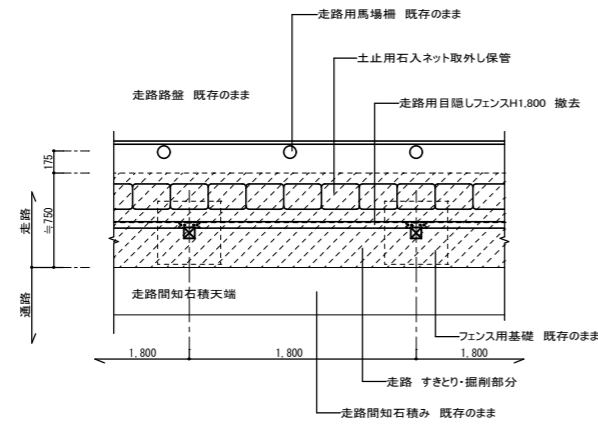
一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (17)・第 7 号  
埼玉県さいたま市緑区太田窪1-15-8 TEL. 048-882-6450  
一級建築士 登録第 62146 号 FAX. 048-882-2004  
高岡敏夫

設計 製図 照会 承認 訂正  
03 年 月 日

工事名称 埼玉県浦和競馬組合野田きゅう舎走路南東側フェンスほか改修工事  
設計図

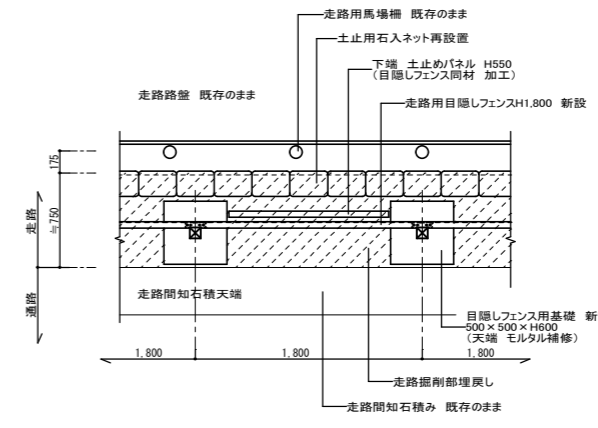
図面名称 改修 全体配置図  
縮尺 1/1,500  
図面番号 A - 10  
[A1原画 A3縮小]  
A3版 1/3,000

改修前

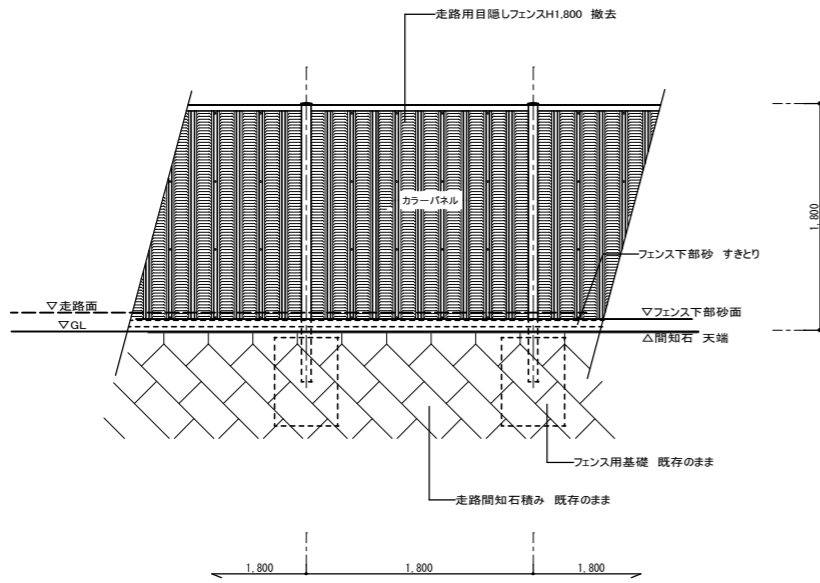


(改修前) 走路フェンス平面詳細図 S=1:30

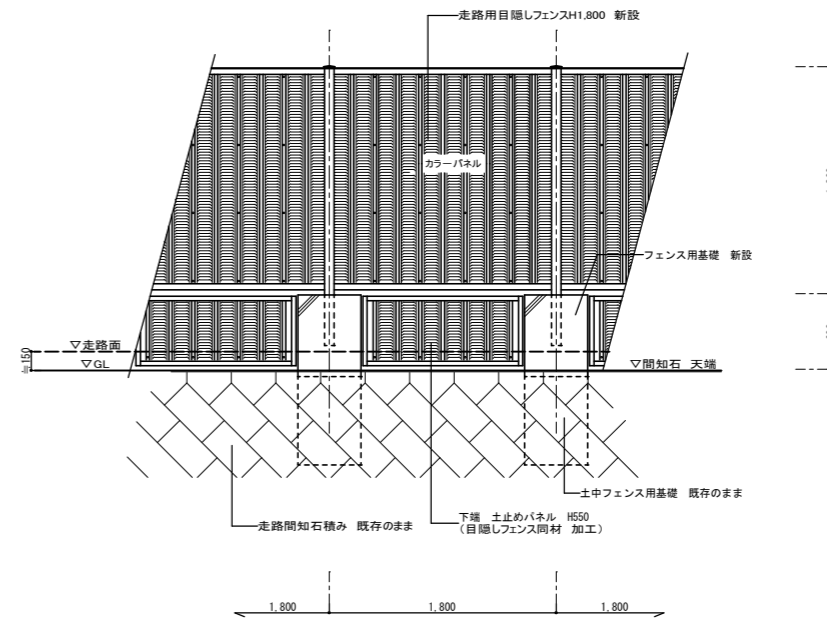
改修後



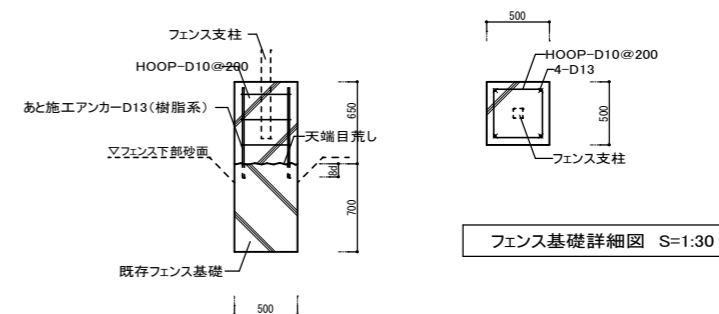
(改修後) 走路フェンス平面詳細図 S=1:30



(改修前) 走路フェンス立面図 S=1:30



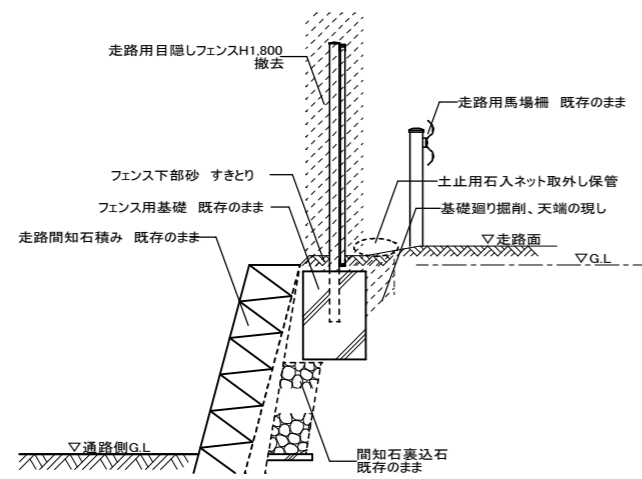
(改修後) 走路フェンス立面図 S=1:30



フェンス基礎詳細図 S=1:30

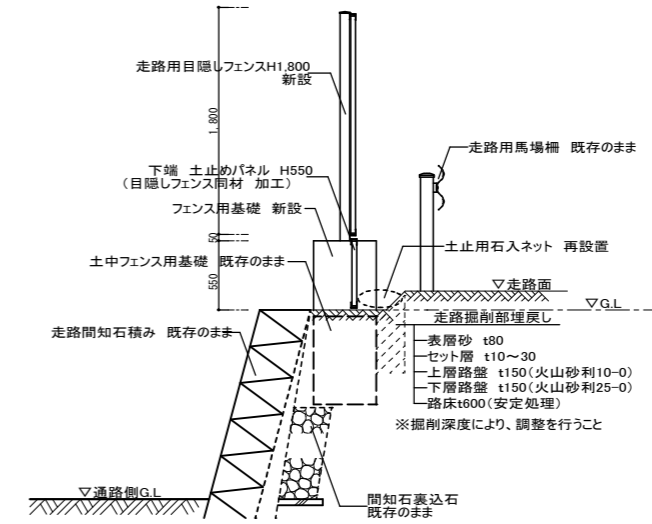
埼玉県浦和競馬組合	監査	技術参与	主査	主査	担当
	飛塚	中里	岩崎	矢島	長瀬

改修前



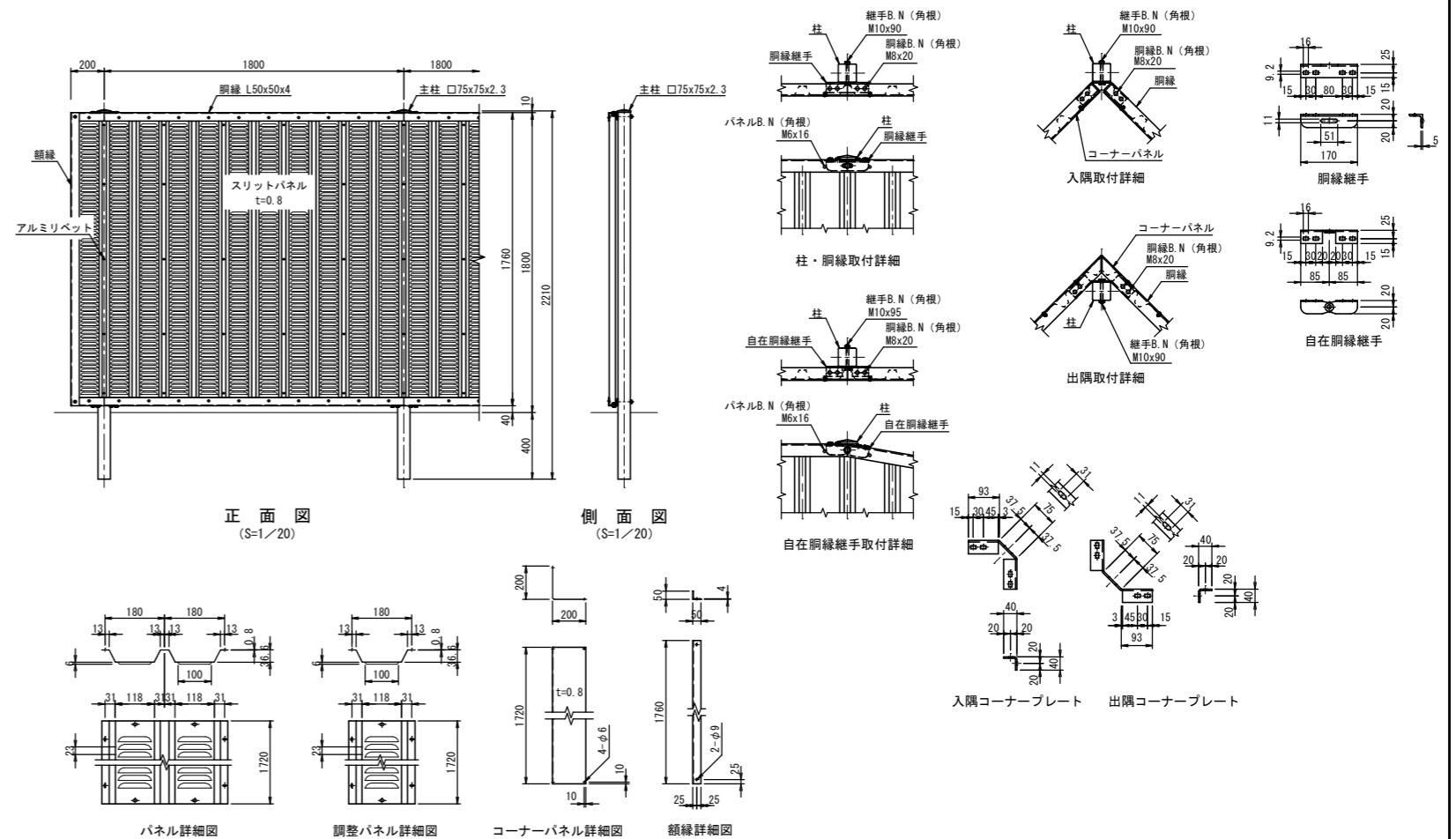
(改修前) 走路フェンス断面詳細図 S=1:30

改修後



(改修後) 走路フェンス断面詳細図 S=1:30

改修後 目隠しフェンス詳細図 1/20



埼玉県浦和競馬組合	飛塚	中里	岩崎	矢島	長瀬
-----------	----	----	----	----	----

株 高岡建築設計事務所

TAKAOKA ARCHITECTS & ENGRS OFFICE

社団法人 埼玉建築設計監理協会

一級建築士事務所 埼玉県知事登録 (17)・第 9号  
 埼玉県さいたま市緑区太田窪1-15-8 TEL. 048-882-6450  
 一級建築士 登録第 52146号 FAX. 048-882-2004  
 高岡敏夫

設計	製図	照合	承認	訂正	工事名称
					埼玉県浦和競馬組合野田きゆう舎走路南東側フェンスほか改修工事
03年	月	日			設計図

図面名称 (改修前・後)  
 走路フェンス断面詳細図

縮尺  
 1/30  
 [A1原画 A3縮小]  
 A3版 1/60

図面番号  
 A - 12